

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第118号 2013年9月

やどりき水源林ニュース

発行(公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜 日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

やどりき水源林で 癒し体験

癒し体験に参加してみました。かながわ森林インストラクターの会の森林癒し部会メンバーに案内され、寄沢沿いにある溪畔林に入ります。

木々の間に張られたハンモックに横たわると・・・



複雑に重なり合った葉は、日光が当たり濃淡をつけて透けて見えます。目を閉じると聞こえて来ます。
 鳥の鳴き声
 風にそよぐ葉の音
 心地よい沢の流れの音
 背中を抜ける涼しいそよ風

う~ん、良い感じ・・・



森で癒される

・・・いろいろなやり方があるよ・・・

森の中でのんびりリラックスして癒される人もいれば、少々きついけれど汗を流して森林を整備することで、達成感や爽快感で心が満たされる人もいます。山歩きもいいですね。それぞれのお気に入りのやり方で森に身を置いて、心も体もリフレッシュしましょう。

水源林は秋の気配



カツラ



こんな所にキボシ
アシナガバチが巣
を作っていました。



ミヤマアカネ



ジャコウアゲハ



ミドリヒョウモン



ミズキ



昆虫酒場のアオカナブン
とスミナガシ

広場のカツラはほんのり甘い香りがして
きました。

林道沿いのススキの葉は伸びて来て、穂
を出し始めました。

キボシアシナガバチは子育て終盤でしょ
うか。

ミヤマアカネの雄は体が赤くなってき
ました。

夏の間賑わった昆虫酒場はまだ開店して
いますが、お客のスミナガシはだいぶく
たびれた様子です。アオカナブンも最後
の樹液を食べています。

ジャコウアゲハは鳥からかろうじて逃げ
て来たのか、翅の後ろが欠けています。

ミドリヒョウモンは夏休みが終わったよ
うで活動を再開しています。

センニンソウやヌルデ、キハギの花が緑
色の濃くなった水源林に映えています。

ミズキの実が、動物たちのご馳走かな。

(8月28日取材)



センニンソウ



ヌルデ



キハギ

9月のトピックス

やどりき水源林で行っている定例観察会「森の案内人」(1頁目の定例観察会のお知らせをご覧ください)。この中の月1回は「散策プラス癒し体験」の日になっています。

今回ご紹介したハンモックなどを体験できます。

9月は 9月21日(日)

(以降 10/13・11/16・3/2 にも予定しています。)

10月の水源林

今はまだほっそりしているジョロウグモの雌が、見事にふくよかになって、迎えてくれます。立体的な網も立派になっています。捕まらないようにご注意ください!



(9月初旬はまだ細い)